

思い出に残る体験を

eスポーツイベントの開催(600万円) 新規

全国に誇る劇場施設である文化創造センター・アリーナで、eスポーツイベントを開催します。

農業体験バスツアー(5万円) 新規

生産者や農業施設、販売店などをバスで巡り、農業を楽しみながら体験してもらうイベントを開催します。

中日ドラゴンズスポンサーゲーム(955万円)

小学生とその保護者を試合に招待し、セレモニーへの参加や場内ビジョンへの出演を通じて、市の魅力を広くPRしてもらいます。

より多くの子どもたちが参加できるようにします。



令和7年9月6日 巨人戦「岐阜県可児市」
住みごこち一番 可児市デー

小中学校アーラ体験会(110万円) 新規

文化創造センター・アーラを舞台に、各学校がアーラでやってみたいことを自ら企画し、実際に体験する機会をつくります。

リサイクルセンター見学ツアー(8万円) 新規

夏休みに、親子でリサイクルの仕組みを分かりやすく学ぶことができるイベントを開催します。

可児っ子海外交流訪問(800万円)

国際的な感覚と幅広い視野を育み、物おじせずコミュニケーションできる楽しさを知ってもらうため、中高生がオーストラリア・レッドランド市で交流できる機会を提供します。

参加人数を20人に増やします。



昨年の参加者

子どもの不安に寄り添う支援

校内教育支援センターの体制強化(4,299万円)

登校はできても教室に入ることが難しい子どもたちのために、校内の居場所である「校内教育支援センター」の設置校を7校にします。設置校全てに専属の支援員を配置し、安心できる学校生活を支えます。

多様な学びの場の運営(3,506万円)

不登校の傾向にある子どもたちのための、集団活動の中で社会性を育む「スマイリングルーム」や対人関係の基礎をゆっくと築く「ニコニコルーム」、オンライン上で学習支援などを行う「メタスマルーム」を引き続き運営し、社会的な自立を支援します。

校内学習支援の体制強化(2億8,481万円)

授業で学習に不安を抱えている子どもを補助するスクールサポーターなどを全小中学校に配置し、子ども一人一人に寄り添った学習支援を行います。



重点方針 子どもの笑顔と 子育て世代の安心づくり

マイナス10カ月から つなぐ まなぶ かかわる 子育て

子育て家庭を応援

妊婦等包括相談・支援給付(7,022万円)

出産や育児の準備を進められるように妊婦や子育て家庭の相談を受けます。面談を通じて不安や悩みを聞き、必要な情報を届けながら適切な支援につなげます。

妊娠の届け出をした人に5万円と、出産予定日前後に胎児または子ども1人につき5万円を支給します。



育児で不安を抱え込まない

こども誰でも通園制度(687万円) 新規

生後6カ月から満3歳未満の未就園児を対象に開始します。保護者の仕事の有無などに関わらず、月10時間まで対象施設を利用できる新しい制度です。

子どもを預けることができるだけでなく、保護者が専門的な知識を持つ人と関わることができ、育児の孤立感や不安感の解消につながります。



多様な保育ニーズに対応

より安心・便利な保育園・幼稚園へ(27億7,799万円)

保育園や幼稚園の運営・支援を行います。また、障がいのある子どもや発達に不安のある子どもが安心して通える環境づくりを目指し、保育体制を充実させます。

保護者の利便性向上を図るとともに、保育業務の効率化を実現するため、保育ICTシステムを導入します。

経済的支援の充実

小学校の給食費を完全無償化(9,040万円)

食材費の高騰が続く中でも、安全でおいしい給食を食べてもらえるよう、完全無償化します。

中学校の給食費は高騰分を引き続き負担します。



友達といっぱい遊んで、いっぱい勉強できる環境づくり

プールの授業を屋内温水プールへ移行(8,298万円)

全小中学校の水泳授業を、天候に左右されない民間事業者の屋内温水プールで実施します。

小中学校の施設を整備(14億7,600万円)

トイレの洋式化などを進めます。

熱中症予防対策(2,129万円) 新規

全小中学校に冷水器を設置します。また、登下校中に休憩できるスペース「みまもりオアシス」を民間施設などと連携して提供します。

令和9年度の体育館への空調設備の設置に向けた準備を進めます。完了するまではスポットクーラーを設置し、児童生徒の健康を守ります。